

一関工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0007		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	未来創造工学科（一般科目）		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	教科書：高等学校国語総合（数研出版）						
担当教員	津田 大樹						
到達目標							
①論理的な文章を読み構成や記述内容を的確に理解することができる ②文学的な文章を読み表現や主題を的確に理解することができる ③根拠に基づいて文章を理解し自分の考えを表現することができる ④言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現を理解し自分の考えをまとめることができる 【教育目標】B・E							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
①論理的な文章を読み構成や記述内容を的確に理解することができる		論理的な文章を読み構成や記述内容を的確に理解することができる		論理的な文章を読み構成や記述内容の概要を理解することができる		論理的な文章の構成や記述内容を的確に理解することができない	
②文学的な文章を読み表現や主題を的確に理解することができる		文学的な文章を読み表現や主題を的確に理解することができる		文学的な文章を読み表現や主題の概要を理解することができる		文学的な文章の表現や主題を的確に理解することができない	
③根拠に基づいて文章を理解し自分の考えを表現することができる		根拠に基づいて文章を理解し自分の考えを表現することができる		根拠に基づいて文章の概要を理解し自分の考えを表現することができる		根拠に基づいた文章を理解や自分の考えを表現ができない	
④言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現を理解し自分の考えをまとめることができる		言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現を理解し自分の考えをまとめることができる		言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現の概要を理解し自分の考えをまとめることができる		言葉の歴史的・文化的背景を踏まえて表現を理解し自分の考えをまとめることができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		教科書の文章の読解と考察を通して、日本語の理解力と表現力を身につける。					
授業の進め方・方法		授業は教科書を主とし、適宜参考資料を補って進める。					
注意点		【事前学習】事前に教材の文章を読み国語辞典等を活用して語句表現を確認しておくこと。 【評価方法・評価基準】試験結果(100%)で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。総合成績60点以上を単位修得とする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	概説		教科学習の意義と方法を理解できる		
		2週	小説		小説の背景や書誌、作家の経歴や主題について理解することができる		
		3週	小説		資料を踏まえて文章の構成や枠組みを読み取ることができる		
		4週	小説		漢字や語句表現について課題を通して学習し理解することができる		
		5週	小説		小説として表現の特質を理解することができる		
		6週	小説		表現を的確に理解し主題について主体的に考察することができる		
		7週	評論		論理的な文章を読み構成や記述内容を理解できる。比較文化論を通して日本文化の特質を理解できる		
		8週	評論		表現を的確に理解し主題について主体的に考察することができる		
	2ndQ	9週	評論		論理的な文章を読み構成や記述内容を理解できる。電子メディア情報の特質を理解できる		
		10週	評論		電子メディア情報の特質やセキュリティについて考えることができる		
		11週	日本語の歴史と文法 1		言葉の歴史的・文化的背景を踏まえて表現を理解できる		
		12週	日本語の歴史と文法 2		言葉の歴史的・文化的背景を踏まえて表現を理解できる		
		13週	随筆		随筆の特質や歴史的背景を理解できる		
		14週	随筆		随筆を読み表現を的確に理解できる		
		15週	期末試験				
		16週	まとめ		これまでの授業を総括し学習内容を確認できる		
後期	3rdQ	1週	日本語の歴史と表記		日本語の歴史を踏まえて表記の方法を理解することができる		
		2週	故事成語		歴史的的文章を読解し主題を理解することができる		
		3週	評論		論理的文章を読み構成や記述内容を理解できる。レトリックを通し多角的視座の重要性を理解できる		
		4週	評論		グループワークを通して他者を理解し相互の考えを尊重しながら意見をまとめることができる		

		5週	短歌	表現を的確に理解し主題について考察することができる
		6週	評論	論理的的文章を読み構成や記述内容を理解できる。
		7週	発話と応答	情報を選択構成し口頭で考えを伝え相互に理解できる
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	物語	物語を読み表現を的確に理解できる
		10週	物語	物語を読み表現を的確に理解できる
		11週	物語	物語を読み表現を的確に理解できる
		12週	史伝	表現を理解し人物・社会について考察することができる
		13週	唐詩	表現様式を理解し情景・心情について考察することができる
		14週	思想	表現を理解し人物・社会について考察することができる
		15週	期末試験	
		16週	まとめ	これまでの授業を総括し学習内容を確認できる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	1	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるすることができる。	1	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	
				日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	

評価割合

	前期期末試験	後期中間試験	後期期末試験	合計
総合評価割合	50	25	25	100
論理的文章理解	20	10	10	40
文学的文章理解	20	0	0	20
論理的表現	0	5	5	10
言葉の歴史と文化	10	10	10	30